

1. 【開催案内】講演会「国際会議主催者セミナー」
2. 【開催案内】「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024
『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040 年の科学・学術と
社会を見据えて～』」

■ -----
【開催案内】講演会「国際会議主催者セミナー」
----- ■

日本学術会議国際委員会と日本政府観光局(JNTO)が共同主催する「国際会議主催者セミナー」が、1月24日(金)に日本学術会議講堂で開催されます。

当セミナーでは、国際会議を主催する皆様やその関係者の皆様に向けて、国際会議の誘致・開催のノウハウ等をご共有させていただきます。実際に国際会議を誘致・開催する上でのポイントや、英語での効果的な誘致プレゼンテーションのノウハウに係る講演等、大変実践的な内容となっています。あわせて、日本学術会議や JNTO の誘致・開催支援の内容についてもご説明いたします。

具体的に国際会議の誘致・開催のご予定がある方はもちろん、今後の参考のためにという方も大歓迎です。是非ご参加ください。

■ 開催概要

○ 国際会議主催者セミナー

- ・主 催: 独立行政法人日本政府観光局(JNTO)、日本学術会議国際委員会
- ・日 時: 2025年1月24日(金)16:00～17:30
- ・場 所: 日本学術会議講堂(東京都港区六本木 7-22-34)
- ・参加費: 無料(事前登録制)

○ 同時開催！ネットワーキングイベント

- ・主 催: 独立行政法人日本政府観光局(JNTO)
- ・日 時: 2025年1月24日(金)18:00～20:00
- ・場 所: ブラッスリー ポールボキューズ ミュゼ
(東京都港区六本木 7-22-34 国立新美術館3階)
- ・参加費: 無料(事前登録制)

■ セミナー概要(予定)

- ・講演1: 第27回国際昆虫学会議(ICE 2024)の誘致・開催について

沼田 英治氏(京都大学 学術研究展開センター特定教授・名誉教授)

・講演2: 英語プレゼンテーションのキーポイント

アダム・フルフォード氏(有限会社フルフォードエンタープライズ CEO)

・講演3: 日本学術会議・日本政府観光局による支援

日本学術会議事務局 参事官(国際業務担当)大沼 和善

日本政府観光局 MICE プロモーション部長 巽 麻里子

■お申込み方法

以下の参加登録フォームよりお申し込みください。

(〆切:2025年1月23日(木)17:00)

<https://www.jcb.jnto.go.jp/l/894021/2024-11-26/31kfyb8>

【問合せ先】日本政府観光局(JNTO)MICE プロモーション部 担当:神田・板垣

(Tel: 03-5369-6015、Mail: shijo * jnto.go.jp)

※送信の際には*を@に置き換えてください。

■-----
【開催案内】「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」

2025年2月3日(月)に「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」をハイブリッド形式(日本学術会議講堂及びオンライン)で開催します。日本学術会議及び協力学術研究団体関係者の皆様を対象に、以下のとおりご案内いたします。お子さんの同伴を歓迎するとともに、日本学術会議内に託児所を設置いたします。ぜひご参加ください。

◆対面の参加登録はこちらから(要登録・参加無料(※)、定員 150 名)

<https://icsts2024.pco-prime.com/?lang=jp>

※現地までの交通費及び宿泊費は、自己負担でお願いいたします。

◆オンラインの参加登録はこちらから(要登録・参加無料、定員 450 名)

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rPvvyVhuQ1Gn-vkpNURFAQ

◆専用ホームページはこちらから(チラシ、会議コンセプトペーパー等掲載)

<https://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2024/ja/index.html>

【日時(日本時間)】2025年2月3日(月)13:00-17:30

【主催】日本学術会議(国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会)

【後援】内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、文部科学省

【開催趣旨】

我が国のイノベーション創出を科学・学術の立場から今後 20 年にわたって支えるには、基盤的・伝統的分野における知識や技術の蓄積を大前提として、イノベーションのフィールドとしての学術分野間の越境、アカデミアと地域のステークホルダーとの連携の充実、さらなる国際連携の促進に取り組む必要があります。

本シンポジウムでは、日本の事例を出発点に、持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム形成に向けた課題や解決策について、国際的な共通点や差異にも焦点を当てながら、世界の(若手)研究者、行政、産業界、市民社会とともに議論します。

【使用言語】英語(日英同時通訳あり)

【プログラム(予定)】

開会挨拶

13:00-13:05 開会挨拶:光石 衛(日本学術会議会長)

13:05-13:10 来賓挨拶:調整中

13:10-13:15 趣旨説明:加納 圭(滋賀大学教育学系教授、日本学術会議

「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」委員長)

基調講演

13:15-13:40 基調講演1:小野 悠(豊橋技術科学大学大学院工学研究科准教授、日本学術会議若手アカデミー代表)

13:40-14:05 基調講演2:オドレ・モアズ(マギル大学化学部教授)

14:05-14:30 基調講演3:フェビアン・メドヴェッキ(オーストラリア国立大学科学院科学意識向上センター准教授)

14:30-14:55 基調講演4:唐昆(清華大学万科公共衛生健康学院准教授)

休憩

14:55-15:15

パネルディスカッション(1.越境研究の推進、2.地域連携の推進、3.国際連携の推進、4.人材の育成・キャリアパスの整備、5.研究環境・業界体質の改善、6.イノベーションの推進等含め議論します)

15:15-17:25 モデレーター:標葉 隆馬(大阪大学・社会技術共創研究セン

ター准教授、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」副委員長、日本学術会議若手アカデミー副代表)

パネリスト: ソヨン・イム (東亜大学インターディシプリナリー・スターディーズ・カレッジ助教授)

チャンドラ・シェカール・シャルマ (インド工科大学ハイデラバード校化学工学部教授)

杉浦 愛 (UNESCO 科学プログラム専門員)

スルフィカール・アミール (南洋理科大学社会科学部准教授)

吉川 真由 (ARCH Venture Partners シニアアドバイザー)

井上 眞梨 (株式会社メルカリ R4D マネージャー)

閉会挨拶

17:25-17:30 閉会挨拶: 日比谷 潤子 (日本学術会議副会長)

●本件問い合わせ先

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 事務局
(株式会社プライムインターナショナル内)

E-mail: icsts2024*pc@prime.com

※送信の際には*を@に置き換えてください。

営業日・営業時間(月)~(金) 10:00-17:00

※土・日・祝日・年末年始(12月28日~1月5日)はお休み

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://x.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転

載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34